

一年をかえりみながら

啓明大学

金海珍 (キム・ヘジン)

日本での一年の留學生活が終わりました。最初、日本に来たばかりの時には、一年は長いと思っていました。しかし、いざ、生活してみれば、あっという間に半年が過ぎていき、夏休みを迎えました。半年間、初めての日本での生活が楽しくて色々な所に遊びに行きました。横浜やお台場、TEAで知り合った友達と小江戸と呼ばれる川越も行ってきました。すごく見たかった時の鐘は工事中で、残念ながら見るができなかったが、日本の昔の姿が見られてとても良かったです。また、タイミング良く祭りも行っていたので、いい経験をしました。その他にも、箱根、日光にも行ってきました。花火大会をみて、綺麗な紅葉も見ることができました。二学期に入ってから、一学期よりちょっと忙しい生活をすごしました。一学期の時も、学校の授業に力を入れていましたが、二学期には日本語能力試験も備えなければなりません。また、学部の授業も聞いていました。出国日が早かったので、予めレポートなどを考える必要がありました。無事にレポートを提出しましたが、母国語ではない言語でレポートを書くのは大変でした。文法の間違いや、母国語とは異なる話し方に手惑いましたが、結果的に私の日本語力をアップさせるのにすごく役立ちました。日本語能力試験の点数も高い点数を得ることができました。日本語で生活し、日本語で授業を、レポートを書いたのが役に立った結果だと考えています。学部の授業では、国で学ぶことができなかったことを学ぶことができ、本当に良かったと思っています。難しかったけど、興味深く楽しい授業でした。国に戻ったら、もう聞くことができないのがすごく残念です。

日本での生活の中で学校の生活も楽しかったけど、色々な国から来た人達との交流もすごく楽しかったです。昔と違って、今では外国に容易く行くことができるようになったと言うけど、いざ行こうとしたらお金もかかるし、特に遠い国にはなかなか行くことができないです。しかし、日本で共に留學生活をする色々な国の人達との交流は、私が今はまだ行くことができない国を間接的に感じることもできるいい時間でした。また、ここは私の国と同じだろうと思ったところが全然違ったり、その国の人とは絶対～だろうと他国に対するステレオタイプもすこしなくなりました。

日本での一年は本当に良かったと思っています。最初は文化の違いにちょっと不満もあったし、国と比べたりしました。しかし、生活しながら、日本のいい点などがだんだん目に入ってきて、今では国に戻りたくないほど、日本に慣れました。まだまだ、戻りたくないけど、日本での留學生活を無事終了して、日本で学んで、感じたことを国に戻って生かすことができると考えています。以上です。

